

# 防災だより

その55

防災専門官 野田 秀敏

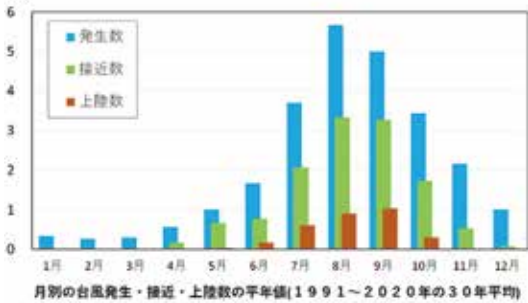
## 台風について

### 台風の発生・接近・上陸

1991年～2020年の30年間の平均では、年間約25個の台風が発生し、約12個の台風が日本から300km以内に接近、約3個が日本に上陸しています。

7月から10月にかけて発生・接近・上陸ともに、最も多くなるので注意が必要です。

台風の発生・接近・上陸数の30年平均



(出典:気象庁ホームページ)

### 最近の台風

・2020年  
2020年は、接近が7つ、12年ぶりに上陸はゼロになりました。

しかし、9月の台風10号は「伊勢湾台風」に並ぶ猛烈な勢力で九州に最接近し、九州の全7県に避難指示が発令され、市では、9つの避難所を開設し最大290世帯545人が、各避難所に避難しました。

・2019年  
9月の台風15号（房総半島台風）は、千葉県内の広い範囲で記録的な大雨や暴風が発生、県内各地で甚大な被害となり建物被害は、全壊314棟を含む6.5万棟、停電93万戸、停電は全面復旧まで18日間を要しました。

翌10月の台風19号（東日本台風）は、関東から東北にかけての周辺12県に大雨特別警報を発令、死者99人、洪水などによる建物の全壊約3千棟を含む9.5万棟もの建物被害が発生しました。

・2018年  
9月の台風21号は、死者14人、約5万棟の建物被害と関西国際空港の滑走路の浸水、

鉄道運休、断水や停電、電話不通などのライフラインへの被害が発生しました。

このように、9月～10月にかけての台風は、海面水温の影響による大型化と太平洋高気圧の縁を回るため接近や上陸により被害が大きくなります。

### 台風から命を守るには？

#### (1)日頃からの備え

・気象情報の入手先を確認しておきましょう。（テレビ、ラジオ、スマホアプリ、ホームページなど）  
・停電にも備えておきましょう。

・ハザードマップなどで避難場所を確認しておきましょう。自宅や職場、学校の近くの避難場所、直ぐに分かりますか？

#### (2)台風接近の数日前

台風から離れた場所でも激しい雨で川が急に増水したり、崖が崩れたり、地下道が水没することがあります。

・発表される気象や避難情報の種類や内容など、最新の情報を利用しましょう。  
・家の外の備えをしましょう。

う。風で飛ばされるようなものは固定するか、家の中に片づけましょう。

・家の中の備えをしましょう。非常持出品の確認や水の確保はできていますか？

#### (3)台風が近づいた時は

・暴風が吹き、雨が強くなりまた、落雷や竜巻が発生することもありますので、危険な場所には絶対に近づかないでください！

#### 《危険な場所の例》

増水した川のそば／崖や溪流のそば／洪水によって浸水のおそれがある低い土地／排水不良により内水氾濫し浸水した場所など

・強い風は、物が飛んできて危険なため不要不急の外出は控えましょう。

#### (4)台風が過ぎても

・台風が通り過ぎたり、温帯低気圧に変わったとしても、警報や注意報が解除されるまでは、油断しないようにしましょう。

・温帯低気圧に変わるときに、暴風域が急速に広がることもありしますので注意が必要です。

## 避難行動要支援者避難支援制度の通知を受け取った人へ

災害が起きたとき、自力での避難や情報の入手が困難な人が近隣市民から支援を受けられるよう名簿を作成しています。書類の提出期限は、9月30日(木)までです。同封の返信用封筒に、関係書類の様式1同意書兼申請書と様式2調査票の2枚に記入して投函してください。なお、本制度を希望しない人も提出をお願いします。

問い合わせ先 防災安全課(内線519)